

■第2回 小学生WS「こんな学校あったらいいな！プロジェクト」 運営内容

【テーマ】「こんな学校楽しいだろうな」を考えよう！

【日時】 令和3年10月12日（火） 13時40分～15時20分

【場所】 北川小中学校 多目的ホール

【参加者】 小学4年生、5年生、6年生 24名 グループ：同学年（全6班）

【WSの趣旨】 もし、新しい学校ができるとしたら、どんな場所があるといい？
こんな学校があったら楽しいだろうな、もっと楽しくするには？
みんなでアイデアを考えてみよう！
現状に対する思いを集める。
様々な写真をスライドで見せ、イメージをふくらませ、
こんな学校があったら、楽しそう！というアイデアを考える。

-
- Step1** 5分 ●ガイダンス 担当：教育委員会
「こんな学校あったらいいな！」プロジェクトの紹介
- Step2** 5分 ●情報提供
みんなの好きな場所を、もっと楽しくするために
担当：設計工房顕塾 柳川奈奈
- Step3** 35分 ●ワークショップ1
1. もっと楽しくするには、どうしたらよいか？ 考えてみよう。
前回のワークショップで考えた好きな場所について
もっとこうしたらいいな！と思うことを考えて見よう！
2. （進み具合をみて可能なら）みんなの意見を覗いてみよう！

（休憩） 10分

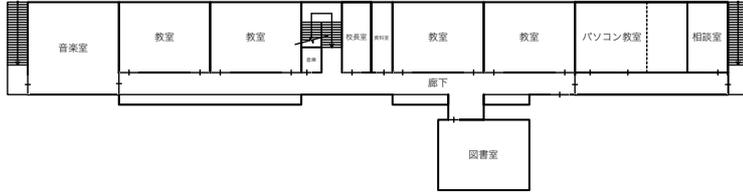
- Step4** 15分 ●情報提供
こんな学校、楽しそう？ 担当：設計工房顕塾 柳川奈奈
- Step5** 25分 ●ワークショップ2（写真をみながら）
1. お気に入りを見つけよう！
印象に残った写真、こんな場所があったらいいなと思った写真を
選んでみよう！
2. 理由を考えてみよう！
どうしていいな、と思ったか、理由を考えて、書いてみよう。
ポストイットに書く。
- Step6** 5分 ●全体共有
みんなの意見をまとめる。
みんなの思いを大人の人に届ける約束をして、終了。

◎第2回 ワークショップ ワークシート

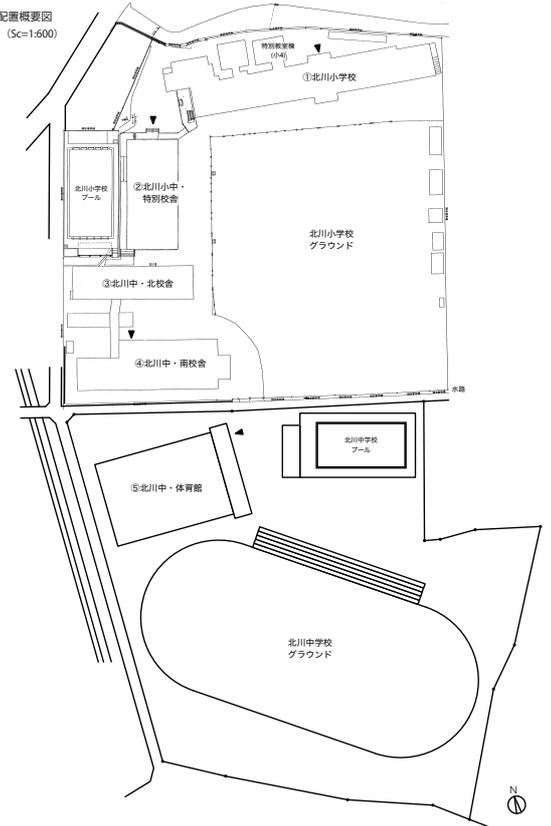
◎小学校 校舎2階



◎小学校 校舎1階



■校舎配置概要図 (Sc=1:600)



1. お気に入りの場所で、考えてみよう！

考える場所の名前

2. もっと楽しい場所にするアイデアを考えてみよう！

3. みんなで楽しく使う、アイデアを考えよう！

4年

外であそびたい場所が
たくさんある。きょう
は、休むときにも
たくさんあそびたい
ところがある。

外で自由にあそぶ
ところが多い。あそ
びたいところがある。

おもしろい場所が
たくさんある。(あそ
びたいところ)

外でいろいろなあそ
びたいところがある。

北川村の有名なところ
がある。あそびたい
ところがある。

学校で作った野菜を
売りたい。

あそびたいところ
がある。あそびたい
ところがある。

あそびたいところ
がある。あそびたい
ところがある。

あそびたいところ
がある。あそびたい
ところがある。

ワークスペースが
ほしい。あそびたい
ところがある。

図書室の習字が
いい。(図書室)
習字の先生が
いい。(図書室)

あそびたいところ
がある。あそびたい
ところがある。

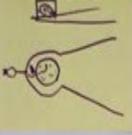
あそびたいところ
がある。あそびたい
ところがある。

英語の先生が
いい。(図書室)

あそびたいところ
がある。あそびたい
ところがある。

学校の近くに
ワークスペースが
ほしい。

あそびたいところ
がある。あそびたい
ところがある。



あそびたいところ
がある。あそびたい
ところがある。

5年

こちらにも本を置く場所がほしい (教室の近く)

(北川小学校) ショールーム
↓
北川川の歴史
北川村の歴史

木で建てた (学校の近く) (カエ)

気分が上がって授業は受けられるけど、集中できない (英語ルーム)

(学校の近く) 小真太郎とヤサの金関係

(生もの広場) 生ものが自由に過せる戸

(集会) イスに机を置いて集まりたい

(物づくり部屋) 自分みんなとDIYができる

みんなでこーは集中できないかもしねない (図書室)

個室がほしい(図書室)

(食どう) 自由にお茶を飲むところ、みげで食べれる所

(職員室) 教室となげてほしい

おもしろい部屋
アスレチックとかがある
ほしい

楽しく英語ホーム

アルジュ
リズな(よ)
品を揃えたい

大きな本を
かりだして読む
図書室

カフェ
オツルシ

おもしろい本が
読みたい
図書室

おもしろい
ツール
図書室

おれがある
おもしろい
おもしろい
おもしろい
(伊豆部屋)

学校の目印がある
おもしろい
おもしろい
(目印)

おもしろい
おもしろい
おもしろい
(図書室)

おもしろい
おもしろい
おもしろい
(図書室)

おもしろい
おもしろい
おもしろい
(英語の教室)

おもしろい
おもしろい
おもしろい
(図書室)

おもしろい
おもしろい
おもしろい
(図書室)

おもしろい
おもしろい
おもしろい
(集会所)

おもしろい
おもしろい
おもしろい
(理科室)

おもしろい
おもしろい
おもしろい
(理科室)

おもしろい
おもしろい
おもしろい
(食室)

おもしろい
おもしろい
おもしろい
(食室)

おもしろい
おもしろい
おもしろい
(食室)

おもしろい
おもしろい
おもしろい
(図書室)

6年

大人は知識を
量産

大きな図書館が
ほしい
(図書室)
大きな図書館が
ほしい
(図書室)
大きな図書館
がほしい!!!
(図書館)

親子供も使える図書館
(赤ちゃんと一緒に
読ませたい)

上にあんな
か取りやすい
こと!!!!!!
(図書館)
上にある本がし
本ない。
(図書館)

外で勉強できる場所
毛しつねが
る王里木利室
あんなにいい
材料がほしい
(図書室)

いろいろな
所で読みたい
場所
いろいろ読みたい
場所
ほしい

いろいろな
所で読みたい
場所
(理科室)

人工しぼ
のグラブ
ド

ここ欲しい
(H)

人工しぼのグラブド
外にのびのび
読みたい。(H)は
運動場

原根がついてほしい

原根がほしい
学校のこと
学校のこと
学校のこと

今のままの
学校の良
今のまま
いい。
(学校)

6年

初コーナー(和室)
たまたみかみ子教和室が良(1)

たまたみかみ子教和室
たまたみかみ子教和室
読める。

人工はかある外(中庭)○

中庭に人工芝
走りやすい
人前芝がほしい
バリエーション
でいい

木外はいい
ある学校
教員が持てる
月1111

木1111
の学木交が
良(1)はいい
木1111

木1111はいい
木1111はいい
木1111はいい
木1111はいい
木1111はいい

星空や天体の展示をしてほしい
星空や天体の展示をしてほしい
星空や天体の展示をしてほしい

星空・ゆず
展示はいい
展示はいい
展示はいい

コアネマリ
ウム

コアネマリ
ウム
コアネマリ
ウム

■第1回 中学生WS「みんなの学園を考えよう！プロジェクト」 運営内容

【テーマ】「みんなの学校」へのリクエストをリサーチしよう！

【日時】 令和3年7月27日（火） 午後1時30分～午後3時

【場所】 北川小中学校 多目的ホール

【参加者】 中学1年生、2年生、3年生 20名（各学年2グループ、計6グループ）

【WSの趣旨】 これから、村の人みんなで、村の人みんなが使える学校を考えていく。今使っている生徒として、学校の状況や思いを伝え、役立ててもらおう！こんな場所が好き、この場所は大切にしたい、もっとこうしてほしい、もっとこんなふうにできたらいいのに、という思いを語り合う。中学生の生徒が、学校空間で感じていることを探る。現在の学校空間を見返すところから、スタートし、次回につなげていく。書かれた思いから、生徒たちの思い、行動を探る。

Step1 5分 ●ガイダンス 担当：教育委員会
「みんなの学園を考えよう！」プロジェクトの紹介

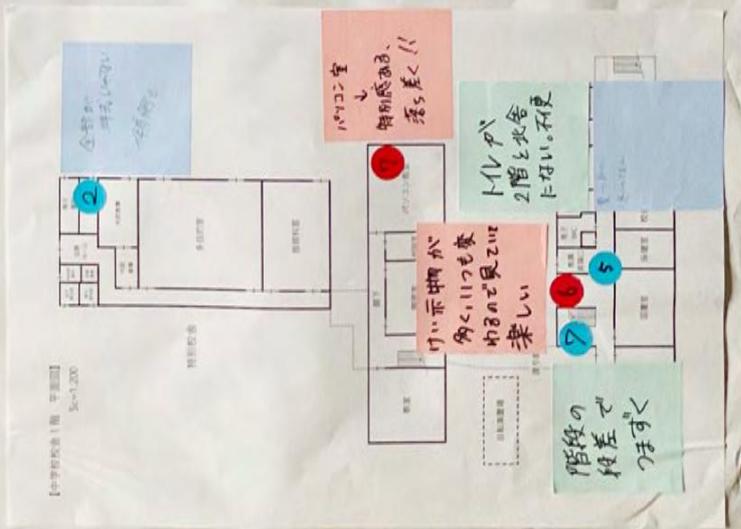
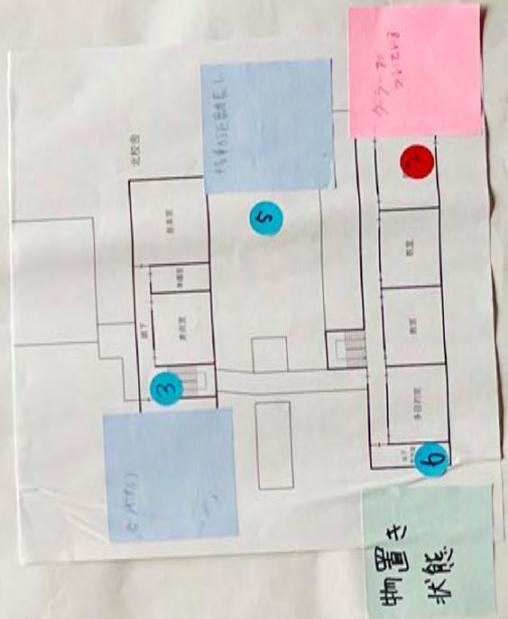
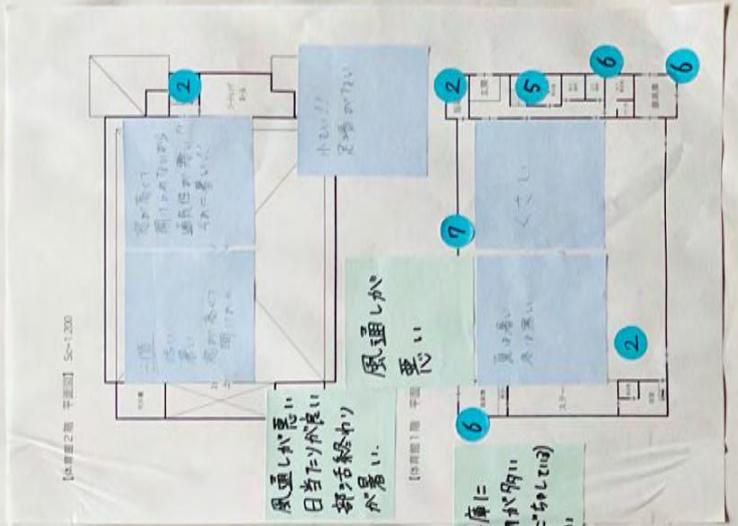
Step2 10分 ●情報提供
建物を考えること、とは？
担当：設計工房顕塾 柳川奈奈
5分 建物を考えること、その仕事について簡単に紹介し、
5分 「図面」の見方について説明する。

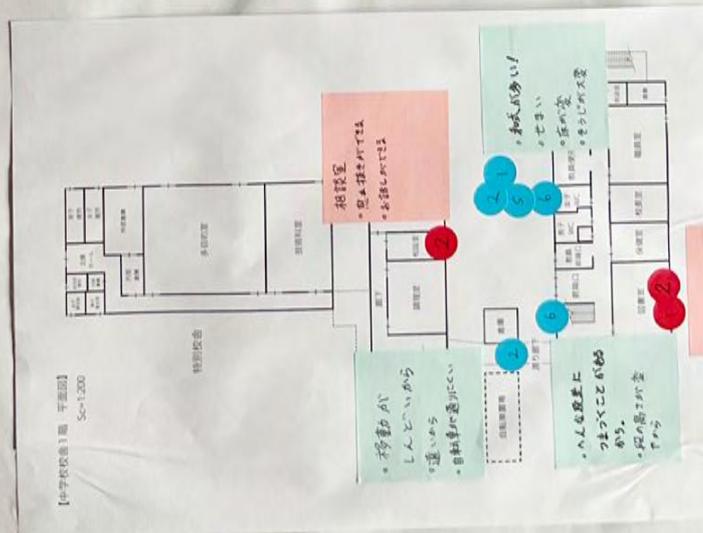
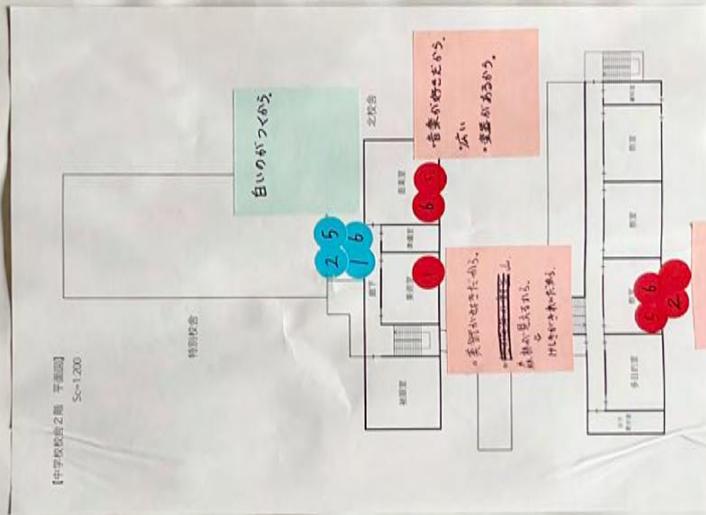
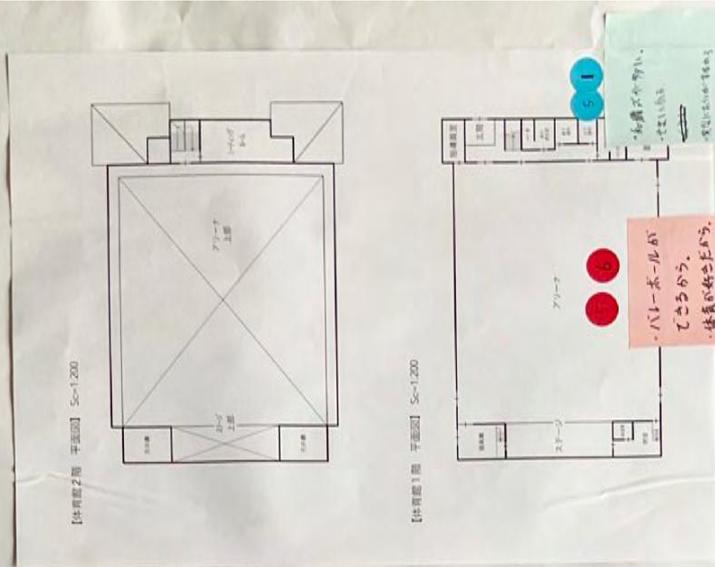
Step3 45分 ●ワークショップ
各自 1. 私のリクエストを考えてみよう！
(10分) 日頃使っている学校全体の環境をイメージして、
 気に入っているところ、使いやすいところ：場所と理由
 使いにくくて困っているところ、工夫・改善したいところ：場所と理由
グループ 2. 班の中で、リクエストをまとめよう！
(一人 進行役を決める。
5分) 記述役を決める。
それぞれ書いたことを発表する。
発表内容に対して、班の中で語り合い、リクエストを深める。
発表者以外の人が語った意見を黄色の付箋に記述し、貼る。
*全体で、1人あたりの時間をその都度、お知らせします。

Step4 30分 ●全体共有
各班ごとに、語り合ったことを発表する。
大人も子どもも、みんなで考えていくので、これからも協力して
みんなで学校を考えていきたい、という思いを共有し、
次回につなげる。

改善したい所

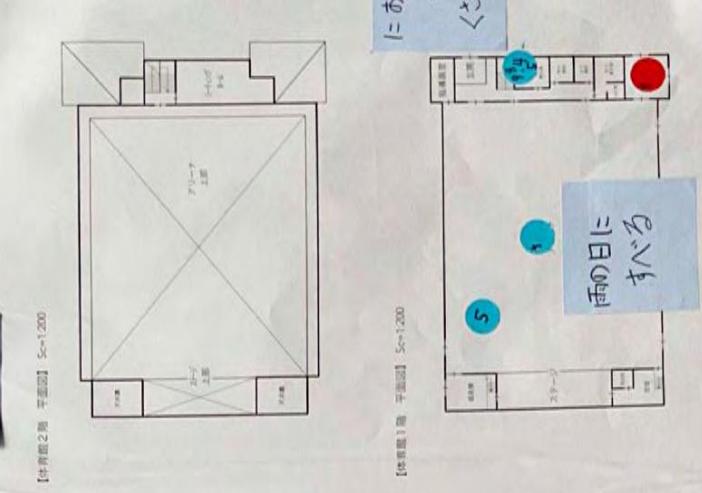
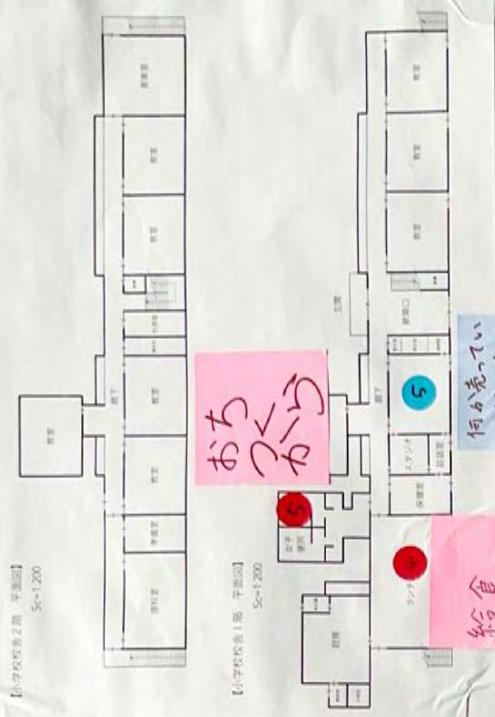
3班





4班

5班



■第2回 中学生WS「みんなの学園を考えよう！プロジェクト」 運営内容

【テーマ】新しい学びの場所について考えてみよう！

【日時】 令和3年10月14日（木） 午前10時40分～午前12時30分

【場所】 北川小中学校 多目的ホール

【参加者】 中学1年生、2年生、3年生 17名（2～3人の班）

【WSの趣旨】 楽しく、いきいきと、みんなで学び合うために
学校にあるとよい場所・空間について考えてみよう！
楽しく、いきいきと、みんなで学び合う場所って、どんな場所だろう？
学校での学習はもちろん、夏休みの自主研究、自習などで使えるとしたら
どんな場所があるといい？ 何がほしい？ 何があるとよい？

Step1 5分 ●ガイダンス

前回の振り返り

担当：教育委員会

今回のワークショップの趣旨

担当：設計工房顕塾 柳川奈奈

Step2 15分 ●準備作業

社会のオフィスや、大学の学びの場所をのぞいてみよう！

社会のオフィスの写真をみせ、今と社会とのつながりを知る。

楽しく、生き生きと、みんなで学び合うための場所の秘密を探る。

*最近のオフィス空間の事例、大学のラーニング commons の事例

Step3 25分 ●情報提供

大学の研究室「くらけん」をのぞいてみよう！

－「くらけんツアー」からイメージをひろげてみよう！－

（15分 案内 + 5分 質問コーナー）

担当：千葉工業大学 創造工学部

デザイン科学科 倉斗研究室

（休憩） 10分

Step4 40分 ●ワークショップ

各自 1. こんな場所があったらいいな

↓ 2. こんなふうに学べたら楽しそうだな

グループ こんなことができるコーナーがあるといいな！

こんなことやれるといいな！

こんな場所、こんな家具、こんな設備、こんなモノがあるといいな！

いろいろな場面を想像して考えてみる。

Step5 10分 ●全体共有

各班ごとに、語り合ったことを発表する。

次回は、これらアイデアを総合的にとりまとめることが目標。

ほろ一息

リフレッシュ!!

北川中

みんな場所

みんな場所

あたるなあ

学校の外におあそび

新入生の場所

みんな場所

今年3年10月4日
新入生
中学生123年

みんな場所
どなたか?

中学生の文化祭

文化祭
中学生の文化祭
中学生の文化祭

屋上
みんな場所
みんな場所

時間と球

みんな場所
みんな場所

■第1回 保小中 教職員ワークショップ 運営内容

【テーマ】「北川学園」らしい、「つながり合う学び」とは？

【日時】 令和3年7月29日（木） 午前10時～午前11時30分

【場所】 北川小中学校 多目的ホール

【参加者】 保小中教職員 23名 4班にわかれて実施

【WSの趣旨】 保・小・中の一体化教育をめざす北川村として、子どもたちに育みたい力とは、どんな力でしょうか？
そのために、どんな場面でつながりをつくっていけるとよいでしょうか？
保・小・中の一体化教育を目指していこうとする際、大切になることは子どもたちを、だれと、どうつなげ、どう分節するか、のメリハリです。それは、学校規模や子どもたちの性質によっても異なります。
今回は、それぞれの立場から、北川の子どもたちにとって、どういうつながりやメリハリをつくっていきべきか、について、考えていきます。

Step 1 5分 ●ガイダンス

保・小・中 一貫をめざして 担当：教育委員会
本日の進め方について 担当：柳川

Step 2 25分 ●情報提供 『(仮)多様なつながりが育む学びと空間のつくられ方』 担当：千葉工業大学 倉斗綾子先生

Step 3 45分 ●ワークショップ

0. 自分の役割を示し合う。
保育所、小学校低学年、小学校高学年、中学校の担当を決める。
担当をシールに記入し、名札のように胸に貼ってください。
*ファシリテーターを選定し、語り合いの中で出てきた内容を付箋に記録して頂きたく、お願い申し上げます。
1. これからも「大切に続けたい」教育・行事・活動とは？
北川っ子たちの「よいところ、大切に伸ばしていきたいところ」を書き出しそのチカラの育成に関係する「大切に続けたい教育・活動」を具体的に記入。できるだけ、現状の様子を詳しく記入して下さい。
その際、つながり合っている「お相手」、一緒に行く「集団構成」を記入。
2. さらに「チャレンジしてみたい」教育・行事・活動とは？
北川っ子たちの「よいところ、大切に伸ばしていきたいところ」を書き出しそのチカラをより一層、育むため「チャレンジしてみたい教育・活動」とは？その際、つながり合えるとよい「お相手」、一緒に行く「集団構成」を記入。
3. これから「フォローアップしたい」教育・行事・活動とは？
北川っ子たちの「気になるところ、乗り越えてほしいところ」を書き出し子どもたちを支え、応援するため「フォローアップしたい教育・活動」とは？その際、つながり合えるとよい「お相手」、一緒に行く「集団構成」を記入。

Step 4 15分 ●全体共有

各班ごとに、まとめを発表

まとめ方：

「大切に続けたい」 「チャレンジしてみたい」 「フォローアップしたい」

この3つのカテゴリーに分けて、模造紙にまとめて下さい。

参考

◎つながり合えるとよい「お相手」

EX. 幼児、低学年、高学年、中学生、○年生と○年生、高校生、大学生
県外の学校の同学年、世界の子どもたち、地域の人、県外で働く人
〇〇で働く人、高齢者 等々

◎記入の仕方

北川っ子のチカラ

→

教育・行事・活動

様々な世代の人
と深い関わりが
もてる子ども

→

学校（すべての学年）と
地域を一緒に行う大運動会

村民みんなで
保・小・中 → 地域の人たち

物怖じしない
子ども
ICTを生かせる
子ども

→

オンラインでつながり合って、
北川学を活用して
北川村の情報発信ツールを作成
実際にプレゼンする

中 → 東京の同世代

BIJE

AB



北川っ子の良いところ

GOOD!

①

周りに、妹女は言う人
成らない。

素直
素直
素直

授業の
良いところ

仲間
仲間
仲間

仲間
仲間
仲間

教育関係の活動
学校主催の活動
水泳、強化合宿、練習

イベント
運動会
夏祭り
各行事

仲間
仲間
仲間

仲間
仲間
仲間

歌
歌
歌

歌
歌
歌

団体の準備
準備
準備

団体の準備
準備
準備

果てない活動の場
(仲間、仲間)

学年ごと
仲間

学年ごと
仲間

外遊の経験
(仲間)

外遊の経験
(仲間)

外遊の経験
(仲間)

外遊の経験
(仲間)

言われたことを言わなければ、
あり程度 毛虫が成り
立つ環境がある。

まじめ
(親がまじめ
な子)

小学校からずっと同じ
メンバーで遊んでいる。

学年間の
上下関係が
あつた。

素直
素直
素直

素直
素直
素直

仲間
仲間
仲間

仲間
仲間
仲間

自分
自分
自分

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

行事
行事
行事

自己生活
主体的に
改善能力
(目的意識)

変革能力
(自己力)
(読能力)
(自己)

村での体験
(本物を見学機会)
→ 小学校 高学年を中心に、
加時研習心をはぐくむ。

自分の将来
目標をもつ
意欲的な活動

社会に出て
自己実現
できる

思い
思い
思い

中学校

小学校

アド-アド

化の中で活動
活動
活動

図書
図書
図書

北の空
北の空
北の空

同じ期
同じ期
同じ期

小中
小中
小中

オープン
オープン
オープン

行事
行事
行事

学年を越えて
交流がある
(仲が良い)

小・中合同運動会
保育園の行事への参加
(毛織、園分)
・部活動へ小学生の参加

ICTを活用
できる。
身元と自由の
表現できる

人と信頼
している

北川村が
好き

真面目に
勉強している
真面目に
取り組む

地域の人と
積極的に
関わる

人のために
何かしたい
思っている
中にも
どうにかしたい
考えを持っている

総合的に学習
運動会
敬老会
地域の人と関わりがある

自主活動に
積極的な
関わりがある

お互いの考えを伝え合う
活動
町や部会 → 小学生に説明

合同学習発表会
お互いの発表を見合う

ボランティア活動
・高尾山南口也 (伊豆野崎)
・高尾山の方 交流 (訪問)

縦割り班の編成
↓
委員会 部会 行事 運動会
などの活動

チャレンジ
してみたい

大切に
続けたい

打ち手弱心

想像力が
とぼしい
指示待ち

村外の人々
社会の仕組み
と対応する
(新しい個性あり)

失敗体験から
改善方法を探る
こと

時間を設けて
自分(自分たち)で思考する
機会をもつ
調理中心 ① → ② (成功)
生活体験 (成功体験あり)
体験活動の充実
子ども会
学校以外での活動

村外の人口関わり
機会 (ICTを活用し
交流する)
職場体験は
村外に限定する
児童 生徒 色んな活動への参加

70歳まで
したい

70歳まで
したい

■第2回 保小中 教職員ワークショップ 運営内容

【テーマ】「北川学園」らしい、保小中一体化のあり方とは？

【日時】 令和3年10月13日（水） 15時15分～16時45分

【場所】 北川小中学校 多目的ホール

【参加者】 保小中教職員 28名

【WSの趣旨】 保・小・中の一体化教育をめざす北川村として、
どのような運営や施設を構築していったらよいか？
前回のワークショップで出された課題点をもとに、
具体的なアイディア・要望を出し合う。
前回のワークショップでみえてきた北川村のこどもたちへの教育的な課題
それを具体的が学校の活動へと落とし込んでいくためのアイディア、
あるいは、行政や地域への協力をお願いしたい内容、施設面への要望を
いくつかの視点を軸に、皆で考えてみる。

Step 1 10分 ●ガイダンス、情報提供 担当：設計工房顕塾 柳川奈奈

Step 2 20分 ●情報提供 担当：教育委員会

Step 3 50分 ●ワークショップ

1. 施設が一体になったイメージで「保小中一体」を考える

以下の課題点を中心に、北川ならではの保小中一体のあり方を考える

●教職員すべてで考えていけるとよいこと

●教育委員会に協力してもらいたいこと

●地域で協力してもらえるとよいこと

●施設への要望

【課題点】

- より一層、保小中連携を実践していくに、考えたいこと
- 同一学年だけでなく、多様な集団で行うと有効な活動とは？
どんな集団構成で、どんな活動を行うとよいか？
授業、生活、放課後、行事…
- 保小中一体で行うとよい行事
どんな行事を、どんなふうに行うと良いか？
- 日常の中で、保小中がどんな場面でふれあえるとあるとよいか？
- 地域の方との関わりの可能性
学習、生活、行事
- 校外での経験を、どの学年で、どんなふうに行うとよいか？
- 北川村の外、外から来た人とのつながりをいかした学びには、
どんな可能性があるだろう？
学習、生活、行事

Step 4 10分 ●次回にむけて

地域からの協力

子育て支援の推進
 地域から協力を得ることは、
 子育て支援の推進に
 大きく貢献する。

子育て支援の推進
 地域から協力を得ることは、
 子育て支援の推進に
 大きく貢献する。

委員会

子育て支援委員会
 地域から協力を得ることは、
 子育て支援の推進に
 大きく貢献する。

子育て支援委員会
 地域から協力を得ることは、
 子育て支援の推進に
 大きく貢献する。

子ども

子育て支援の推進
 地域から協力を得ることは、
 子育て支援の推進に
 大きく貢献する。

子育て支援の推進
 地域から協力を得ることは、
 子育て支援の推進に
 大きく貢献する。

子育て親

子育て親の協力
 地域から協力を得ることは、
 子育て支援の推進に
 大きく貢献する。

教師：子ども

教師としての協力
 地域から協力を得ることは、
 子育て支援の推進に
 大きく貢献する。

教師：教師

教師としての協力
 地域から協力を得ることは、
 子育て支援の推進に
 大きく貢献する。

施設

子育て支援の推進
 地域から協力を得ることは、
 子育て支援の推進に
 大きく貢献する。

子育て支援の推進
 地域から協力を得ることは、
 子育て支援の推進に
 大きく貢献する。

教職員可へて
考ていけとよと

保小中合同で
文化発表会も行う
→ 親の協力も必要
→ 地域に呼びかけ、
活動の場を拡大して行く

特別支援校との交流
支援・情報交換
(普通校・特別支援校)

単学年で
体育科指導
(保・中・高)

(保) 小・中合同で
学習発表会
(地域学習の場・活動
の場・学習発表の場)

教育委員会に協力を

北ノ村小
中・高
(国) 国語 国語
(英) 英語

高等学校 学校協議会
九・五区一学区内で
共同して活動(研修
項目)として取り上げ
(国語科・英語科)

地域協力

い・い・い・い・い
女・女・女・女・女
教員 普通
社会
学校

体育館
・ 身体教育の発展
・ 上向き活動の推進
・ 社会貢献

保・小・中合同で
体育館
・ 身体教育の発展
・ 上向き活動の推進
・ 社会貢献

女子の部活動
・ 女子の部活動
・ 女子の部活動
・ 女子の部活動

公立女子部活動
・ 公立女子部活動
・ 公立女子部活動
・ 公立女子部活動

公立女子部活動
・ 公立女子部活動
・ 公立女子部活動
・ 公立女子部活動

公立女子部活動
・ 公立女子部活動
・ 公立女子部活動
・ 公立女子部活動

施設への要望

施設の 一体化

教室の近くに
ホァンスパス
(異年齢・地域交流)

多様な職員が
授業を参観し
すぐ出来る

屋外へ出
ても移動が
出来る設備

保小で一緒に
出来る行事が
増える

異年齢のきおたい
用事が参画・参
出来る良さ

図書館

村立図書館

・読み聞かせ
地域のボランティア

図書館司書と
雇う

・読み聞かせ
中学生による
保育・低学年対象

交流バス
と
個別バス
→ともを先確保

地域の人と共に
活動ができる
スペースの活用

図書館(村)
・7-バス
・作業場
・調理室
} 広く

個別対応が
できる部屋(複数)
(小さくて可)

保小中合同の
防災訓練

継割り班の
編成

保小
小中
交流の機会

保小と
1年王の交流

保小育の
理解
園遊会
土曜
家庭滞在
交流の機会
ついでに
保小合同の
防災訓練
[保小合同]

学習発表会の
見学
(合同学習発表会)

村小の
自然の活動
発表の機会
学習発表会
専門的
知識の活用

子育の
活動の
発表の
機会
保小合同の
防災訓練

児童室
の
活用

保小合同
の
活用
の
機会

■第1回 地域ワークショップ 運営内容

【テーマ】未来につなげたい「北川村のたからもの」再発見！

【日時】 令和3年6月30日（水） 午後7時～午後8時30分

【参加者】 北川村地域の方、保護者の方

【場所】 北川小中学校 多目的ホール 31名（オンラインでの参加者あり）

【グループ構成】 6人ずつ程度（オンライン参加の方が別途）

【WSの趣旨】 北川村らしさ・これからへの思いを語り合い、共有し、
保育園や学校づくりで生かしていく、村民皆さまの村への夢を集めます！
第2回では、これらを大切にいかすためにできること、始めてみたいこと
必要なもの、必要な場所、機能を考えていくワークショップを予定。

Step1 15分 ●情報提供

本事業について 担当：教育委員会
ワークショップについて 担当：柳川
進め方の説明

Step2 10分 ●班ごとに 自己紹介

名前、育ったところ、参加した理由

Step3 25分 ●その1 『北川村のいいところ、再発見！』

5分 各自、記入

- ・北川村の好きなところ、残したいこと
（長所、場所、特徴、特色、地域ならではのもの、などなど）
- ・北川村の学校・保育園のよさ、つなげていきたいこと
（長所、特徴、場所、もの、思い出、行事、などなど）

20分 班内で語り合ってみよう！（その1）

黄色カードの内容から

- ・書いた内容、なぜそう思ったか？ の発表
- ・その方の思い重ねて、感想、思い、イメージの広がりを

25分 ●その2 『北川村の気になるところ、再共有！』

5分 各自、記入

- ・村や学校・保育園で、改善できたらな、と思うこと
- ・これから工夫していけたらいいな、と思うこと
- ・不安、気になること

20分 班内で語り合ってみよう！（その2）

緑色・白色カードの内容から

- ・書いた内容、なぜそう思ったか？ の発表
- ・その方の思い重ねて、感想、思い、イメージの広がりを

Step4 15分 ●全体共有

各班ごとに、まとめを発表

株のつやがたい 北川村・保育園 学校づくり

第1回北域ワークショップ (語り合ひ考え合ひ会)

北川の
子ども達の
未来を
考える

保育園の
未来を
考える

地域の
未来を
考える

北川村の
未来を
考える

■第2回 地域ワークショップ 運営内容

【テーマ】 「こんな場所、あったらいいな！」－ みんなの居場所を考えよう！－

【日時】 令和3年10月14日（木） 午後7時～午後8時30分

【場所】 北川村 村民会館 大ホール

【グループ構成】 6人ずつ程度 21名 （オンライン参加の方あり）

【WSの趣旨】 もし、学校を新しくすることができるならば、学校のそばに、あるいは、隣接して、どのような環境があるとよいのかを、みんなで考える。
第1回目の課題点からみえてきた、あったらよい場所に加えて、できるだけ多くの村民に活用してもらえる場所のイメージを考える。

Step 1 5分 ●情報提供 1

本事業の趣旨、WSの意味 担当：教育委員会

Step 2 20分 ●情報提供 2

村に必要な「みんなの居場所－〇〇のような場所」 担当：柳川

◎前回のワークショップの内容、アンケートから、課題共有

前回のワークショップから見えてきた村の課題

◎様々な場所の事例

村の課題解決にむけて、あるとよい場所のイメージを広げる

・村の魅力を発信する場所

例えば、道の駅のような、観光案内所のような、移住支援…

・子どもたちが社会の人とつながる場所

・村の産業や仕事を知ることができる場所

例えば、交流ひろば、村づくり活動拠点、サテライトオフィス…

・子どもたちが集まれる場所、子ども連れで遊べる場所

例えば、公園、図書館、交流ひろば…

・若い人が集まれる場、出会いの場

・みんながふれあえる場、ちょっと立ち寄れる場

例えば、カフェ、キッチンカウンター、みんなの保健室…

Step 3 50分 ●「みんなの居場所」をデザインしよう！

「～なふうに〇〇できる、△△みたいな場所があったらいいな！」

班に別れて、3つまで、あったらよい場所のアイデアを考える。

3つの課題・視点を中心に、アイデアを出し合う。

視点1. 子どもたちが使える場所、子どもたちにとって必要な場所

視点2. 村民みんな、多くの人に、有効に使ってもらえる場所

視点3. 村の活性化につながる場所

5分 各自、記入

・自分だったら、どんな場所があるといいか？

25分 場所のイメージを、班内で語り合ってみよう！

- ・それぞれの意見を出し合って、本当に必要なものを選ぶ。
- ・その具体的なイメージを語りあう。

Step4 15分 ●全体共有

各班ごとに、まとめを発表

●「みんなの居場所」をデザインしよう！

「～なふうに〇〇できる、△△みたいな場所があったらいいな！」

班に別れて、3つまで、あったらよい場所のアイデアを考える。

3つの課題・視点を中心に、アイデアを出し合う。

視点1. 子どもたちが使える場所、子どもたちにとって必要な場所

視点2. 村民みんな、多くの人に、有効に使ってもらえる場所

視点3. 村の活性化につながる場所

◎様々な場所の事例

村の課題解決にむけて、あるとよい場所のイメージを広げる

・子どもたちが集まれる場所、子ども連れで遊べる場所

例えば、公園、図書館、交流ひろば…

・若い人が集まれる場、出会いの場

・みんながふれあえる場、ちょっと立ち寄れる場

例えば、カフェ、地域食堂、みんなの保健室…

・村の魅力を発信する場所

例えば、道の駅のような、観光案内所のような、移住支援…

・子どもたちが社会の人とつながる場所

・村の産業や仕事を知ることができる場所

例えば、交流ひろば、村づくり活動拠点、サテライトオフィス…

「村ピア」置く。

子どもに
もっとHappy

村民にとってHappy

公園

学校おやつ
遊ぶ。
友達といっしょに。

カフェ

子づれて
「カフェ」行き
にくい。

高い者、大人も
子どもとママが
小い場所

自然体験
で「お場所」
キャンプ、調理もある。

お泊まり
体験の場

地域は
みんなが
使っていくイメージ

地蔵堂

行きやすい
ごま名前や
さんま作りを!

接点、つながり
ともらいたい!

放課後子どもが
立ち寄れる

星座
観察

災害時の
たすけ出しの
経験にもつながる。

大人から
知恵を学ぶ!

まきわり。
料理も自分たち
でメニューを作る。

生きる力

つながりや
たくましさも
つちかう。

村の市店から
おろしてもらう。

人話に行く。
人とつながる。

村の活性化

村の特産と。
ゆるぎなく

観光
案内所

子どもが案内
できるように。

子どもの作品
(新聞など)を
展示

運動会「お場所」
ジム etc
（体作り）

図書館は今も
も一応ある。

子と老

村民は

村の活性化

779-5
菜の花場所

健康衣類
山の学校
・川の遊歩道
・山の遊歩道
・火の遊歩道

餃子屋工

雪の作業者
（自由な服装は利用し、ヘルメットは必ず着用）
必ず安全帯を

自由度の高い調理室
在り調理室で少人数でも
使用可能な調理室が
複数あり、各台分

（6台）
（50名）
（50名）

図書館
図書館

病院
・~~診療科~~
・~~検査室~~
・~~花火~~

健康公園

器具が揃った子供遊具
器具が揃った子供遊具
器具が揃った子供遊具
器具が揃った子供遊具

0歳～100歳
みんなが集える
総合施設

大人の食堂
夜の食堂

赤のれん

アソビ
場所

若人の遊歩道
(中間尾)

居住環境

観光案内所
観光案内所は、観光客の
滞在の中心となる場所。

道幅
観光案内所の設置は、観光客の
滞在の中心となる場所。

集客情報発信基地
観光案内所の設置は、観光客の
滞在の中心となる場所。

★ Happy Village

雇用促進

短乗ラジオ
村の住民が作る。
音響、何かが好き

カフェ

子供が遊べる
模型小屋
(伝統道管と遊具の併用)

みんな同じ
文化
↓

村の外の子と
つながる

みんなの保健室
(おととい部でやる
少人数)

★ Happy Village

村外の人(外組)と
村の上で気軽に
交流できるように

図書館を中心とした
コミュニティ

広い部屋に
スクリーン
時々上映会など

スタジオ、カラオケ
視聴覚ルーム

いつか
一人の重荷が
大きい

集まらざる場所
大切

30分ほど
しんこい

時間がない
(可なりなだけ
思っている
けれど...)

荷物
たくさん

30分ほど Happy

地域の児童教室
(お茶会など...)

子供の遊べる
遊具

花生広場

ワークショップおよび検討委員会における意見 とりまとめ資料

基本計画の策定にむけて、使い手となりうる方々として児童・生徒、教職員、地域住民の方々を対象に、今ある施設に対して、あるいは、これから必要となる環境について、さらに、これから行ってみたいと考えている活動について、意見を頂いた。

また、それらを検討委員会にて資料として報告し、意見をふまえた内容で検討をすすめた。

そこで、ワークショップの中で出された意見、また検討委員会にて出された意見について、それぞれの場面、回ごとではなく、すべての意見を見通して、今後の運営や施設のあり方の検討に役立てられるよう、テーマごとにとりまとめることとした。なお、テーマによっては、重複して掲載している意見もあるので、ご了承頂きたい。

また、それぞれの意見の背景が分かるよう、右欄に記号をふり、明らかにすることとしている。それぞれの意見が提示された、検討委員会の内容やワークショップの対象者とテーマについては、凡例記号と合わせて、一覧に示す。

◇検討委員会

| | 内容 | 凡例記号 |
|-----------|--|------|
| 第1回 検討委員会 | 北川村の現状、今後の進め方について | ※1 |
| 第2回 検討委員会 | 複合化にむけて PPP/PFI について | ※2 |
| 第3回 検討委員会 | 子どもたちの現状について 教育の方向性について | ※3 |
| 第4回 検討委員会 | 社会とつながる学びについて 就学前教育のあり方について | ※4 |
| 第5回 検討委員会 | 保小中一体化を目指す学校施設の機能と 既存活用の可能性について 電子図書について（参考） | ※5 |
| 第6回 検討委員会 | 保小中一体化及び複合化を実現する建物の 可能性について | ※6 |
| 第7回 検討委員会 | 教育の方向性について（指針や理念等） サウンディング結果について | ※7 |
| 第8回 検討委員会 | 基本計画報告書（案）について | ※8 |
| 第9回 検討委員会 | 基本計画報告書について（仮） | ※9 |

◇ワークショップ

| 対象者 | 回数 | テーマ | | 凡例記号 |
|----------------|------------|---------------------------------------|-----|-------|
| 北川小学校 1～3年生 | 各学年 ごとに | 学校のお気に入りの場所は？ 「こんな学校楽しいだろうな」を考えよう！ | | ○-1 |
| | | | | ○-2 |
| | | | | ○-3 |
| 北川小学校 4～6年生 | 第1回 | ぼくやわたしの「お気に入りの場所」を 紹介しよう！ | 4年生 | ○#1-4 |
| | | | 5年生 | ○#1-5 |
| | | | 6年生 | ○#1-6 |
| | 第2回 | 「こんな学校楽しいだろうな」を考えよう！ | 4年生 | ○#2-4 |
| | | | 5年生 | ○#2-5 |
| | | | 6年生 | ○#2-6 |
| 北川中学校 1～3年生 | 第1回 | 「みんなの学校」へのリクエストをリサーチしよう！ | | ◎#1 |
| | 第2回 | 新しい学びの場所について考えてみよう！ | | ◎#2 |
| 教職員 (保小中) | 第1回 | 「北川学園」らしい、「つながり合う学び」とは？ | | ■#1 |
| | 第2回 | 「北川学園」らしい、保小中一体化のあり方とは？ | | ■#2 |
| 地域住民 | 第1回 | 未来につなげたい「北川村のたからもの」再発見！ | | ◇#1 |
| | 第2回 | 「こんな場所、あったらいいな！」 － みんなの居場所を考えよう！ － | | ◇#2 |

- * 北川小学校4～6年生については、3学年同時にワークショップを実施しているが、意見の内容が、学年で大きな差異がみられたことから、学年も含めて記すこととした。
- * 中学校の第1回ワークショップでは、好きな場所の理由を 嫌いな場所の理由を で色付けしている。

1. これからの教育のあり方：課題と今後の取り組み、教育への思い

| | | | |
|-----------------|-----------------|---|----|
| 教育のあり方 | これまでの取り組み、成果、課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・北川学は地域資源を活用しながら子ども達が探究的な学習を深めており、聞いたり 伝えたり 表現したりする力も身につけてきている。この活動を行うに当たっては、地域の方々の協力を得て活動が成り立っており、大変感謝している。また、オンライン 英会話では、保育から中学校までネイティブの方との会話を通してスピーキングやヒアリングの力を高めている。今後も特色ある取組として継続して取り組んでいきたい。 | ※1 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・北川学を本格的に初めて3年目になるが、いわゆる地域学としての学びの他、企業と連携した様々な活動等を通して、北川村ならではの学びの有り様を構築していきたい。 | ※3 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年、保小中の連携は深まり、学校が活性化していると理解している。それぞれの先生が現場に出向いていただいて交流も進んでいる。北川学においても、地域住民も喜び、子どもたちも元気になっているという状態だ。 | ※3 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・映像コンテストや新聞づくりコンクールの受賞が世間に認められたことは、学校の先生や子どもたちの努力でできたことではあるが、現状の施設の中でもできたことである。今の取り組みが良いとするならば、新しい学校をつくることでその取り組みが、さらに効率的に、より良いものにならないといけないと思っており、さらなる取り組みに期待したい。 | ※3 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・北川の子は、素直で真面目で、人懐っこい部分や人を信じている部分など良さがある。課題としては、北川村のような良い環境ではなく、不慎れな環境になった場合に、自分の力が発揮できないことや人見知りになってしまう部分もあると感じている。 | ※3 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・自分を小さい頃から知っている大人たちに対して恥ずかしがったりする部分もあるので、そういったものを克服できるようなチャレンジ精神を養う環境を整えられたら。 | ※3 |
| 教育の特色づくり 独自性 | | <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域の教育の現状をみてきた経験から、子どもは素直に育っているが自分のことを表現しながらコミュニケーションを取ることがなかなかできないという似たような中山間地域の子どもの実態がある。そのような環境の中で、学校でどのように育てていくのが先生方の悩みだと認識している。 | ※3 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・一旦、教育課程の網を外して、多角的に教育を捉えてもいいのではないか。もっと言えば、学習指導要領に基づかず、中山間地域なりの教育のあり方を検討して、今ある常識を外して中山間地域の子どもの課題解決を図るようなチャレンジをしていただきたい。 | ※3 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・先生方が気になっている集団行動などの能力の部分については、多様性や個別最適といった言葉があるように、国際的に活躍できる人材を育てるような観点もある。そういう点では、北川村の子どもたちの人懐っこさなど素晴らしいと思っていて、北川村のブランド・特性としてあるのではないかな。 | ※3 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・より視野の広い子どもを育てているが、逆に子ども達の中では自分を縛り付けている地域に対して嫌悪感を持ち始めるという状況もでてくるし、教育を素晴らしいとすればするほど、子どもが村外へ出て行くという状況はある。そういうこともあるという認識を持って、良い教育が裏目に出ないような取り組みも必要ではないかな。 | ※3 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・4月28日に開催された保小中教職員が参加されたワークショップでされた意見「ICTの活用が進んでいるからこそ、子どもたち同士の繋がりがや本物に触れるという体験を大切にしたい」という意見に注目している。自然に囲まれている、一次産業があるのは北川村「だからこそ」である。少人数の環境などは高知市とは違う環境に恵まれている。そういう点が保小中教職員ワークショップででたのではないかと理解している。 | ※3 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・基本計画を検討している中で、今回御提案いただいた農業プロジェクトの目的や目標については北川村の農業プロジェクトとしてはトーンが低いのではないかな。本村の実態や総合戦略の方向性も踏まえて基本計画を検討しているという側面もあることから、今後提案をいただければありがたい。 | ※3 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・15年一貫教育をする際に、軸みたいなものはほしいと考えている。例えば、ゆずを育てるというだけではなく、収穫する加工する販売するなど1次産業2次産業3次産業、6次産業までの仕組みをある程度学べる経験できるという教育現場を作っていくんだとすれば、拾っていくものがまた出てくると考えている。そういう意味でも教育ビジョンの軸はほしい。 | ※4 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・ゆずをきっかけに様々な職業があるのだと知ってもらって複合施設になれば良いのではないかなと思っている。PFIの話もあったが、収入が得られるようにするなどそこをどのように組み合わせるのかになる。 | ※4 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・モネの庭という財産をどのように捉えるのか。雑談レベルではあるが、名称を北川学園ではなく、モネの庭学園がいいのではと話したこともあった。コンセプトの中に、芸術とか文化がテーマとして入っても良いのではと思っている。 | ※4 |

| | | | |
|--|--------------------------------------|---|------|
| 教育のあり方 | 独自性の維持 力量形成 | ・異動がある公立学校の特色を踏まえて、大きく進めすぎてしまうと新しく赴任した先生が追いつかなくなるようなことも考えられる。そこが、私立と大きく異なる点であると考えている。そのため、新しく赴任してきた方も対応できるような、地域に根付かせていくようなシステム、仕組みを構築することが必要であり、今後の課題でもある。 | ※6 |
| | | ・地域住民の感覚というものと先進的な学びというものをどうすりあわせて行くのがそこもすごく大事になってくると思う。保護者からすると、夢もあるかもしれないけど不安もありそのあたりは村をあげて議論していけるような環境になっていけると良いのではないかと感じている。 | ※6 |
| 教育のあり方 (項目別) | 義務教育 学校化 保小中 一体化 | ・一貫教育はぜひやってもらいたいと考えている。小学生や中学生が小さい子とふれ合い、労ることを知ることは重要である。また、世代間交流を行い、お互いを知れることはいいことだと思う。一方で、保育所がどのように関わるのかはわからない部分もあり、一体的な校舎について今後具体的に進めていってもらえればと思う。 | ※6 |
| | | ・少ない人数であるので、小さいときからお兄ちゃんお姉ちゃんと交流できる方がよりよく学習できると思う。 | ※6 |
| | | ・中学生の時期にでてくる課題において、乳幼児期に何か対応できることがあれば、保小中一体化は意味があると考えている。 | ※3 |
| | | ・全体的な意見として、教育の内容を検討する際に、保育所の学びが小学校、中学校の学びに対して後で付け足されている印象がある。自主的、主体的な学びというのは、幼児期からある学びの1つである。保育所にもしっかりとした学びがあるのだという位置付けをもらって、保小中の学びを連携させてほしい。 | ※6 |
| | 幼保一体化 | ・保護者のみなさんは、お仕事に行かれる方がほとんどで子どもを預かってほしいというニーズが高い。 | ※3 |
| | | ・保育については待機児童なく6ヶ月、1年から対象の方々を預かっていると把握している。 | ※3 |
| | | ・小1プロブレムについては、近年小学校へは5名ほどの入学になっているが、教職員が温かく迎え入れて、教職員同士の連携は具体的に進んでいるので、現在はそこまで問題は少なくなってきたと認識している。 | ※3 |
| | | ・学校教育法に基づく幼稚園機能も併設することで、就労していない層（保育所の利用をしない層）にもアプローチしていくことも重要ではないか。 | ※3 |
| | | ・認定こども園制度を検討している。保を置き去りにしているわけではなく、制度の中で、幼も含めて15年通して一貫で学んでいくというメッセージを出したいと考えている。 | ※4 |
| | | ・特に幼児教育なども含めて、全体的な中で自分が何をしたいのか、あなたは何をしたいのかという問いかけを意識しながら環境を作っていくことが大切であり、その中で、自己表現、あるいは自分を出していけるような子どもたちであってほしいし、私はこうだということがしっかりとと言える子どもたちを育ててほしい。 | ※7 |
| | | ・先生の力量形成によって、そういうことが引き出せる学校環境があるといいのではないか。 | ※7 |
| | 少人数よさ | ・学校、保育所 少人数なのでみんなの名前を知っている みんなの良いところをしっている。 | ◇#1 |
| | | ・少人数であるので、みんなのことをよく知っている環境。 | ■ #1 |
| | | ・小学校からずっと同じメンバーで 過ごしている | ■ #1 |
| | | ・人数が少ないからこそ縦の関係がすごくいい!! (学校) | ◇#1 |
| | | ・少ない子供の数(きめ細かいよさ) | ◇#1 |
| ・子供の人数が少ないことで、一人一人に目がいき届きやすい。みんな知っている。 | | ◇#1 | |
| 小規模への不安 | ・人数がすくないことのメリットもあるが、競い合いや互いに高め合う面では△ | ◇#1 | |
| | ・子どもの人数が少ないので友だちと一緒に体験することが少ない | ◇#1 | |
| | ・子供が少なすぎる。(友だちとのかかわり 不安!!) | ◇#1 | |
| | ・子供に色々経験をさせたくても、その環境がない。(部活とか) | ◇#1 | |
| | ・外に出るとおとなしくなって、話さなくなると聞いた。 | ◇#1 | |
| | ・社会へ出た時の団体生活(子供が少ないので) | ◇#1 | |
| | ・学年によって子供がいなくなる事 | ◇#1 | |
| | ・子どもが減っている。 学年10人いない | ◇#1 | |
| | ・子どもの数が年々減少してきている | ◇#1 | |
| ・どんどん子どもが減っているの、このままで成り立っていくのかどうか心配…。 | ◇#1 | | |

2. 北川村の子どもの特性

| | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|---|------|
| 子どもたちの特性 良いところ | 真面目 素直 | ・まじめ | ■ #1 |
| | | ・すなお | ■ #1 |
| | | ・明るい、自由、素直、まじめ | ■ #1 |
| | | ・北川の子は、素直で真面目で、人懐っこい部分や人を信じている部分など良さがある。 | ※3 |
| | | ・素直で元気な子ども達 | ◇#1 |
| | | ・素直な子が多い | ◇#1 |
| | | ・都会の子たちが忘れてしまった素直さ、子どもらしさ | ◇#1 |
| | | ・【小】素直 | ■ #1 |
| | | ・【中】素直（2） | ■ #1 |
| | ・【中】まじめ（続ける力はある？） | ■ #1 | |
| | 素朴 | ・【中】素朴 | ■ #1 |
| | | ・小中学校の生徒たちの素朴なところをのばしてやってほしい。 | ◇#1 |
| | 礼儀正しい | ・【小】礼儀正しい | ■ #1 |
| | | ・【中】礼儀正しく真面目であるところ | ■ #1 |
| | | ・【中】基本的な生活習慣が身につけている生徒が多い。 | ■ #1 |
| | あいさつ | ・【小】あいさつ | ■ #1 |
| | | ・【小】あいさつが進んですることができる。 | ■ #1 |
| | | ・【小】明るい あいさつができる | ■ #1 |
| | | ・【中】挨拶がよくできる。 | ■ #1 |
| | | ・【中】元気にあいさつできる子 | ■ #1 |
| | 優しい | ・【小】優しい | ■ #1 |
| | | ・【小】仲間を大切に子ども | ■ #1 |
| | | ・【中】仲間・友だちを大切にできる子 | ■ #1 |
| | | ・【中】優しさ、思いやり | ■ #1 |
| | | ・【中】常に受け入れられる姿勢 | ■ #1 |
| | | ・【中】思いやりがある。やさしい。 | ■ #1 |
| | ・【中】人、ものに対して思いやりのあるところ。 | ■ #1 | |
| | 協力し合える | ・協力し合える | ◇#1 |
| | | ・子どもたち割とまじめ。協力し合う。（高校で北川の子がほめられることがよくある。） | ◇#1 |
| | 縦の つながり | ・【保】小さい子を思いやったり、大きい子にあこがれをもったりしているところ （・やさしさ、・意欲） | ■ #1 |
| | | ・【小】互いのことをよく知っている。 | ■ #1 |
| | | ・【小】学年を超えて仲がよい | ■ #1 |
| | | ・学年を超えて、交流がある。（仲が良い） | ■ #1 |
| | 人との関係 | ・【小】人懐っこさ | ■ #1 |
| | | ・人を信頼している | ■ #1 |
| | | ・北川村の子供 人なつこい所 幸せそうな顔 | ◇#1 |
| | | ・北川の子は、素直で真面目で、人懐っこい部分や人を信じている部分など良さがある。 | ※3 |
| | | ・地域の人と積極的に関わる | ■ #1 |
| | | ・奉仕活動に積極的に関わろうとする。 | ■ #1 |
| | 積極性 | ・人のために何かしたいと思っている。 | ■ #1 |
| | | ・北川村の中だったら、どうかしようと 考えることができる | ■ #1 |
| | | ・【保】いろいろなことに興味関心をもって、やってみようとするところ （遊び）くり返したり、試したり、チャレンジしたり | ■ #1 |
| ・【小】やるきのある子ども | | ■ #1 | |
| ・【小】いろんな事に興味をもてる子ども | | ■ #1 | |
| ・【小】いろいろなことにチャレンジしようとする | | ■ #1 | |
| ・【中】何事も前向きに取り組もうとする。 | | ■ #1 | |
| ・【中】何事にも一生懸命に取り組むところ。手の抜き方を知らない。 | | ■ #1 | |
| 一所懸命 | ・子供たちが真面目で一生懸命 | ◇#1 | |
| | ・【中】宿題などやりきれる生徒が多い。 | ■ #1 | |
| | ・【中】何事にも一生懸命に取り組むところ。手の抜き方を知らない。 | ■ #1 | |

| | | | |
|---|--|---|------|
| 子どもたちの特性 良いところ | 好きなこと 得意なこと | ・【小】外遊びが好き | ■ #1 |
| | | ・【小】体を動かす事が好き | ■ #1 |
| | | ・【小】歌 | ■ #1 |
| | | ・【小】読書が好き | ■ #1 |
| | | ・ICTを活用できる | ■ #1 |
| | | ・学びを分かりやすく表現できる | ■ #1 |
| | 村への思い | ・北川村が好き | ■ #1 |
| | | ・小中学生が北川村に愛着をもっている。 | ◇#1 |
| | | ・子どもたち 村のことが大好き | ◇#1 |
| | | ・子どもたちが北川村が好き 北川愛が強い！！ | ◇#1 |
| ・子供達が北川村のこと（ゆずや中岡慎太郎など）をよく学んでいて誇りに思っている。 | ◇#1 | | |
| 子どもたちの特性 課題・ 育てたいチカラ | 課題 | ・社会に出ても、ものおじしやすい | ■ #1 |
| | | ・課題としては、北川村のような良い環境ではなく、不慣れな環境になった場合に、自分の力が発揮できないことや人見知りになってしまう部分もあると感じている。 | ※3 |
| | | ・自分の思い・考えを言葉として相手に伝えるのが弱いところがある。 | ■ #1 |
| | | ・自分の考えを言えない。言わなくなってくる。 | ■ #1 |
| | | ・【小】意欲的 → 【中】受け身 | ■ #1 |
| | | ・積極性に欠ける | ■ #1 |
| | | ・受け身的な所がある。もっと自分から前に出てほしい。 | ■ #1 |
| | | ・精神的な弱さ | ■ #1 |
| | | ・打たれ弱い | ■ #1 |
| | | ・まったいい | ■ #1 |
| | | ・気になること…？ 村の子どもたちは良い子すぎて、村から出たときつぶされないだろうか…。 | ◇#1 |
| | | ・外に出るとおとなしくなって、話さなくなると聞いた。 | ◇#1 |
| | | ・想像力がとぼしい。 | ■ #1 |
| | | ・指示待ち | ■ #1 |
| | ・目標をもちにくい | ■ #1 | |
| | ・こどもはしんどい。楽になれる場所が必要。時間がない、何かしたいと思っているけど… いつも一人（当たり）の重荷が大きい | ◇#2 | |
| | 教育への 思い | ・社会とつながってたくましくなれるといい | ◇#1 |
| | | ・机上の学習より、身体で体験できる学びが増えたらいいな | ◇#1 |
| | | ・子供の意欲や興味を引き出せる大人や教育関係者の熱意 | ◇#1 |
| | 育てたい チカラ | ・自己発揮できる力 | ■ #1 |
| | | ・自分の（将来の）目標をもって 意欲的に活動する力 | ■ #1 |
| | | ・自分たちの生活を主体的に改善していく力（自治活動力） | ■ #1 |
| | | ・変えていく力（チャレンジ力）（発想力）（向上心） | ■ #1 |
| ・村外の人や社会の仕組みに対応できる（新しい関係づくり） | | ■ #1 | |
| ・自分を小さい頃から知っている大人たちに対して恥ずかしがったりする部分もあるので、 そういったものを克服できるようなチャレンジ精神を養う環境を整えられたら。 | | ※3 | |
| 教育環境への課題 | 少子化 小規模 | ・子供が少なすぎる。（友だちとのかかわり 不安！！） | ◇#1 |
| | | ・人数がすくないことのメリットもあるが、競い合いや互いに高め合う面では△ | ◇#1 |
| | | ・外に出るとおとなしくなって、話さなくなると聞いた。 | ◇#1 |
| | | ・社会へ出た時の団体生活（子供が少ないので） | ◇#1 |
| | | ・子どもの人数が少ないので友だちと一緒に体験することが少ない | ◇#1 |
| | | ・子供に色々経験をさせたくても、その環境がない。（部活とか） | ◇#1 |
| | | ・学年によって子供がいなくなる事 | ◇#1 |
| | | ・子どもが減っている。 学年10人いない | ◇#1 |
| | | ・子どもの数が年々減少してきている | ◇#1 |
| | | ・どんどん子どもが減っているの、このままで成り立っていくのかどうか心配…。 | ◇#1 |

3. 学校における今後の活動・取り組みのイメージ

| | | | |
|--------------------|---|---|--|
| 課題にむけた 取り組みについて | 育てたい チカラ | ・自己発揮できる力 | ■ #1 |
| | | ・自分の（将来の）目標をもって 意欲的に活動する力 | ■ #1 |
| | | ・自分たちの生活を主体的に改善していく力（自治活動力） | ■ #1 |
| | | ・変えていく力（チャレンジ力）（発想力）（向上心） | ■ #1 |
| | | ・村外の人や社会の仕組みに対応できる（新しい関係づくり） | ■ #1 |
| | | ・自分を小さい頃から知っている大人たちに対して恥ずかしがったりする部分もあるので、 そういったものを克服できるようなチャレンジ精神を養う環境を整えられたら。 | ※3 |
| | 教育の 取り組み | ・まちがっていてもかまわないので、自分の考えを発表する場面をつくる。 | ■ #1 |
| | | ・失敗体験から改善する方法を考えさせる。 | ■ #1 |
| | | ・生活体験（家での役割り） 体験活動の実施 | ■ #1 |
| | | ・教科 行事等で目標をたて、振り返り、達成感を味わう体験を重ねる （友だち教師等からも評価） | ■ #1 |
| | | ・行事や係活動の中で、活躍できる場面を増やすことで、積極性を鍛える。 | ■ #1 |
| | | ・時間を設定して、自分（自分たち）で思考する機会をつくる | ■ #1 |
| | | ・お互いの考えを伝え合う活動 例 中学生→小学生に説明 | ■ #1 |
| | | ・同じ集団にならないように組み合わせを考える。 | ■ #1 |
| 保小中で 取り組みたいこと | 連携授業 縦割り | ・子ども同士でも保小中の成長を知る（保育で色々と学んでいる。赤ちゃん扱いをせずに、 時には見守りも必要…。やってみせて、ほめる！！ 自信につながる。） | ■ #2 |
| | | ・きちんとした姿を見せられたらモデルになる 全校での授業も… 体育・音楽（道徳） | ■ #1 |
| | | ・（保・小）授業、劇、合唱、合奏 | ■ #2 |
| | | ・単学年でなく、体育や音楽など一緒に！！（低・中・高） | ■ #2 |
| | | ・調理など 小→中へ バージョンアップ | ■ #1 |
| | | ・小・中【外国語】 他校との交流、国内外 | ■ #2 |
| | | ・縦割り班の編成 | ■ #2 |
| | | ・小中で一つの課題を与え、協力し、解決していける活動（縦割りグループで） | ■ #1 |
| | | ・縦割りグループで、小と中、保～中までで、課題を解決していける活動 指示を出す側に中学生がなれば、指示待ちしなくなる？ | ■ #2 |
| | | ・縦割り班 動物、植物（育てる）、畑：作って食べる | ■ #2 |
| | | ・縦割り班の編成→ 委員会、ボランティア、遊びなどの活動 | ■ #1 |
| | | ・昼食の放送 そうじの時間（縦割り） 委員会活動 | ■ #2 |
| | | ・生徒会活動を日常的に行う。対話・談話をふやす。→小学校高学年も一緒に行って学校改革 | ■ #1 |
| | | こども間の ふれあい | ・小中から保へ気軽に行けたら…（絵本の読み聞かせやお昼寝の寝かしつけ等） 保護者にも小中の子どもの成長を見てもらえる！ |
| | ・ふれあえる場面 保～中までがふれ合える、ふれ合いタイムを設定し、 話したり遊んだりできる空間を作る | | ■ #2 |
| | ・年長児と小学生の交流 例えば、休み時間等に一緒に遊べることで、社会性の学びが あるのでは？（大きいお兄さんやお姉さんたちにルールを覚えてもらったり…） | | ■ #2 |
| | ・休み時間など【工作教室】自由に作ることができる作品の共同制作 | | ■ #2 |
| | ・読み聞かせ（保育所、小） | | ■ #2 |
| | ・異年齢きょうだい同士が登園・登校できる良さ | | ■ #2 |
| | ・年長児と一年生との交流 | | ■ #2 |
| | ・年長児が就学前に1年生と給食と一緒に食べられる。 | | ■ #2 |
| | こどもと 教員 | ・小中の生徒が今まで教わった先生に、気軽に話にいける、相談できるふんい気づくり （スペース、機会） | ■ #2 |
| | | ・自分の校種でない子どもとの関わり方 | ■ #2 |
| | 行事 | ・保小中で一緒にできる行事が増える | ■ #2 |
| | | ・行事面で、中学生が小学生に教えられる場面 | ■ #1 |
| | | ・行事を合同でする 始業式、終業式、遠足、発表会、体育的行事 | ■ #2 |
| | | ・保小中で行うとよい行事 運動会、発表会、遠足（野外炊飯） どの行事も上級生の姿が下級生のお手本となる | ■ #2 |
| | | ・小中合同で一日中、山でいろいろ 理由：行事をふやしてほしい | ◎#2 |
| | | ・小学校と中学校で一日中遊んでいても、寝ていても、いろいろしてよい日 理由：したい | ◎#2 |
| | | ・一週間に1回、全校でスポーツ | ◎#2 |
| | | ・いきなり何かが始まる（全校）・ゲーム大会 理由：したい | ◎#2 |